

平成21年3月31日  
JR北海道釧路支社

## 「SL冬の湿原号」「流水ノロッコ号」運行実績について

JR北海道では、今年度も観光列車「SL冬の湿原号」「流水ノロッコ号」を運行し、道内外から多くのお客様にご利用いただきました。

また、沿線各地の皆様のご協力により、無事運行を終了することができました。平成20年度、冬の道東観光列車運行実績については以下の通りです。

### ■乗車実績

#### 1 SL冬の湿原号（釧路～標茶間）

20年度の乗車総人員は12,900人と前年よりも1,700人減少しました。SLの車両検査等により運転日数が昨年度より9日間少ない39日間運行だったことが影響しております。しかし、乗車平均(1日あたり)は331名と前年を超えました。

(釧路～標茶間 1日1往復 上下計)

	乗車計(人)	乗車平均(人) (1日あたり)	運転日数(日)	運転日
本年	12,900	331	39	1/24,25,31,2/1-28,3/1-8
前年	14,600	304	48	1/19,20,26,-31,2/1-29,3/1-9,15,16
増減	-1,700	27	-9	
対前年比(%)	88.4%	108.9%		
前々年	15,300	319	48	1/20,21,27-31,2/1-28,3/1-11,17,18
増減	-2,400	12	-9	
対前々年比(%)	84.3%	103.8%		

※川湯温泉延長運転：本年1/24、25（2日間） 前年1/19、20（2日間）

※重連運転：本年1/24 前年1/19

※SL逆向き+DL運転：本年1/25 前年1/20

※臨時運転時の乗車人員は数字は含まず

#### 2 流水ノロッコ号（知床斜里～網走間）

20年度の乗車総人員は18,700人と前年よりも6,700名減少しました。運転日数は昨年度より9日間少ない37日間の運行となりました。また、乗車平均(1日あたり)も505名と前年を下回りました。流水の接岸状況が遅れた影響もあり、低調な結果となりました。

本年度の流水初日は2月3日(前年より15日遅い)、接岸初日は2月19日(前年より24日遅い)、海明けは3月3日(前年より34日早い)でした。

(知床斜里～網走間 1日2往復 上下計)

	乗車計(人)	乗車平均(人) (1日あたり)	運転日数(日)	運転日
本年	18,700	505	37	1/31,2/1-28,3/1-8
前年	25,400	553	46	1/26-31,2/1-29,3/1-9,15,16
増減	-6,700	-48	-9	
対前年比(%)	73.6%	91.3%		
前々年	25,100	546	46	1/27-31,2/1-28,3/1-11,17,18
増減	-6,400	-41	-9	
対前々年比(%)	74.5%	92.5%		

※流水初日とは、流水が視界に入った日。

※接岸初日とは、流水が接岸、または定着氷と接着して船舶が航行出来なくなった最初の日。

※海明けとは、全氷量が5割以下になり、かつ沿岸水路が出来て航行が可能となった最初の日。

【お問い合わせ：釧路支社販売グループ 高柳 0154-25-1683（土・日・祝日除く）】